



## 横浜・八王子地本合同 情報作り・平和研修をおこないました！！

今年は戦後80年の節目の年です。歴史から学び平和を語り継ぐことを目的として江東区にある第五福竜丸資料館、小名木川職員慰霊碑、戦災資料館の見学をし、参加者で意見交換会をおこないました。

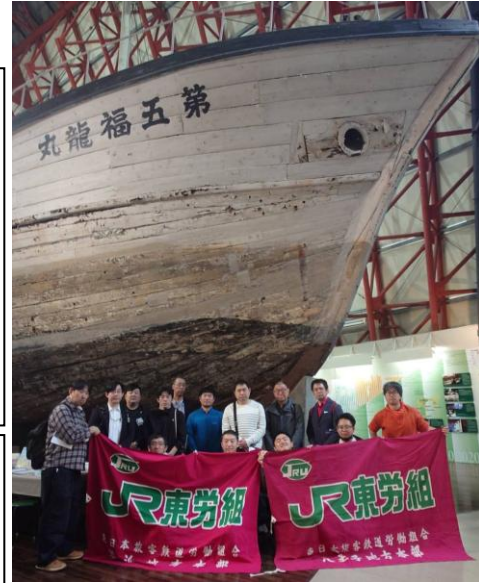
意見交換会では平和を語り継ぐため新聞投書をする事、19行動集会に参加することなど平和を語り継いでいくため実践をしていくことを参加者で確認をしました。

### 第五福竜丸資料館

終戦から9年後の1954年3月10日

マグロ漁船である第五福竜丸はビキニ環礁にて、アメリカ軍の核実験により発生した「死の灰」と呼ばれる放射性降下物により乗組員23人、船、マグロが被ばくをしました。

その後「夢の島」と呼ばれるゴミの処分場に放置された第五福竜丸は被ばくの歴史を伝えるため、現在資料館に展示をされています。



### 江東区北砂「小名木川駅職員慰霊碑」

亀戸～越中島を結ぶ貨物線の駅である小名木川駅(現在は廃止)で東京大空襲にて12人職員が殉職されました。その御霊を悼む慰霊碑として建立されました。

### 東京大空襲・戦災資料センター

1945年3月10日、アメリカ軍による空襲により現在の台東・墨田・江東区あたりを中心に焼け野原となり、10万人もの方々が亡くなりました。この資料館では空襲体験談や街並みの写真などが展示されています。

この日は94歳の語り部の方による講話があり空襲当時のことを鮮明に語っていただきました。



### ～空襲を体験した私が後世につたえたいこと～

戦時下14歳だった私は軍事教育を受け、天皇は神だと教育を受けていました。空襲時私より先に避難をしていた母と姉妹が遺体で見つかり、別に避難をしていた私と父だけが生き残りました。戦後本当につらいのは生き残った人たちです。飢餓に苦しみ栄養失調になりました。しばらく人と会話することもできなくなりました。

戦争は幸せだった家族を一瞬にして破壊します。今また軍事費の拡大議論がなされていて本当にけしからん国になった。

**私たちは戦争体験者から直接話を聞ける最後の世代です。**

**歴史から学び平和を後世に語り継いでいこう！！**